

新受入資料



その他の新刊、新受入本はホームページにも掲載されています。

<http://www2.lib.ota.gunma.jp>

タイトル	著者	出版社	請求記号
60代からもっと人生を楽しむ人、ムダに生きる人	『PHP』編集部	PHP研究所	159 0
ひとりで歩く京都本 [2016]		京阪神エルマガジン社	291 116
貧困世代	藤田 孝典	講談社	367.6 7
「手抜き」でもぐんぐん伸びる「男の子」の育て方	藤川 万規子	三笠書房	379 7
親子でうたい継ぐ子守唄のえほん	西館 好子	チャイルド本社	388 2
女子高生アイドルは、なぜ東大生に知力で勝てたのか?	村松 秀	講談社	404 4
トヨタの強さの秘密	酒井 崇男	講談社	537 9
図解知らないとソンをする! 定年後のお金	畠中 雅子	学研プラス	591 7
我々の恋愛	いとう せいこう	講談社	F 11
アンバランス	加藤 千恵	文藝春秋	F 11
ヒーロー!	白岩 玄	河出書房新社	F 11
恩讐の鎮魂曲 (レクイエム)	中山 七里	講談社	F 11
うめ婆行状記	宇江佐 真理	朝日新聞出版	F 11
神様のコトモ	山田 悠介	幻冬舎	F 11
砂丘の蛙	柴田 哲孝	光文社	F 11
遠い国のアリス	今野 敏	徳間書店	B F 11
賢女ひきいる魔法の旅は	ダイアナ・ウィン・ジョーンズ	徳間書店	933 7
児童書			
迷いクジラの子守歌	安東 みきえ	PHP研究所	913 7
オバケ屋敷にお引っ越し	富安 陽子	ひさかたチャイルド	913 10
ケンガイにっ!	高森 美由紀	フレーベル館	913 11
干したから...	森枝 卓士	フレーベル館	E 11
じてんしゃギルリギルリ	角野 栄子	そうえん社	E 11
チョコたろう	森 絵都	童心社	E 11

2016

太田市立新田図書館

4月号

にったとしょかんだより

太田市新田反町町877 tel 0276-57-2676 <http://www2.lib.ota.gunma.jp>

子ども読書のすすめ

ご入園、ご入学、おめでとうございます!

新年度が始まりました。

今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

読書講演会レポート

おかあさん人形劇 新受入資料



よろしくおねがいします



新田図書館では、毎週土・日曜日、1階お話コーナーで、ボランティアグループ“くわのみ”による、よみきかせを行っています。ぜひ、ご参加ください。

土曜日 午後2:30~ 日曜日 午前11:00~

よみきかせ  
グループ



くわのみ

お知らせ

“くわのみ”の仲間を募集しています! 子どもたちと一緒に絵本を楽しみませんか?

連絡先: 小川(0276-31-6795)

開館時間

火~金 9:00AM~6:00PM

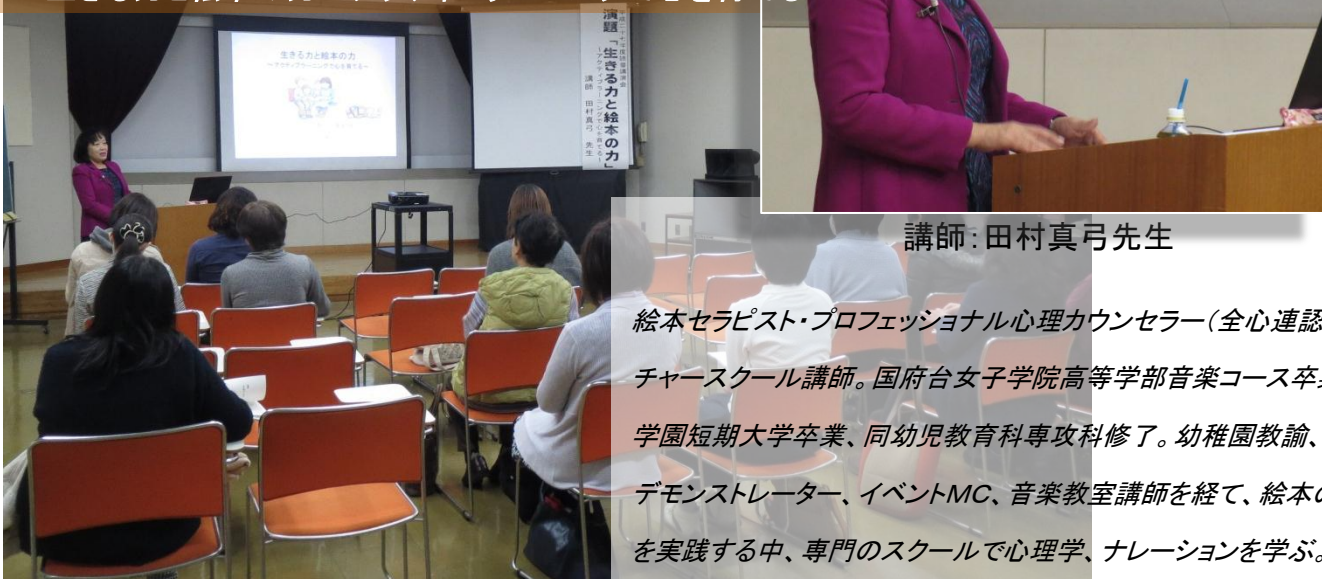
土・日・祝祭日 9:00AM~5:00PM

4月の休館カレンダー ■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

# 読書講演会

生きる力と絵本のカ〜アクティブラーニングで心を育てる



講師: 田村真弓先生

絵本セラピスト・プロフェッショナル心理カウンセラー(全心連認定)・カルチャースクール講師。国府台女子学院高等学部音楽コース卒業後、洗足学園短期大学卒業、同幼児教育科専攻科修了。幼稚園教諭、キーボードデモンストレーター、イベントMC、音楽教室講師を経て、絵本の読み語りを実践する中、専門のスクールで心理学、ナレーションを学ぶ。

現在、おじま第二保育園、園長

平成28年3月12日(土)、「生きる力と絵本のカ〜アクティブラーニングで心を育てる」と題し、講師に田村真弓先生をお迎えして読書講演会を開催いたしました。講演内容は、「絵本が語るもの」として、絵本の絵と言葉の関係性は、絵でみることによって情報が明確になり、子どもはストーリー化しやすくなります。また、脳科学的には、映像がまるで経験したかのように見え、想像力の向上につながるそうです。次に、子どもが同じ本をくりかえし読んでもらいたがるのは、そのことによって、次の展開を覚え、想像できるようになると、安心感が芽生えるそうです。そして、参加者の方々にも、「自分のために絵本を読んだことがありますか？ それを読んだ時、どのような感覚になりましたか？」と質問されました。子どもの頃、読んでもらった経験を思い出したり、読後、ホッとした、などといった感想を受け、大人にとっての絵本は様々な経験と結びついて心に残るものであり、どこで、誰に読んでもらったかという、愛情に包まれた経験、子ども時代を思い出すものであるそうです。また、「絵本の知育的側面と脳科学的側面」として、絵本を読んでもらっているときの子どもの脳、については、心の脳と呼ばれる大脳辺縁系は喜怒哀楽(情動感情)を表現する部位で、絵本を読んでもらっているときに活発に働き、また、読むと同時に子どもの反応を見るなどしているときのお母さんたちの脳は、前頭葉が活発に働いているそうです。表題の「アクティブラーニング」については、今後の教育についてお話しされ、従来の暗記中心の(答えが決まっている)学習ではなく、予期せぬ事が起きた時にどう行動するか?といった、学びと生活を結ぶことができる教育に変化していき、幼児期に必要なのは語彙の獲得、正解のない質問に答える力を養うことであり、それには絵本を読んでもらうといった経験が有効であると語られました。講演会後も熱心に先生と語られる参加者の方々もいっしょに、有意義な時間を過ごしていただけたと思います。先生、参加者の皆様、ありがとうございました。



群馬県教育委員会(生涯学習課・県立図書館)は「子ども読書のすすめ」として、ブックリストやどくしょつうちょうを用意しております。ブックリストは「図書館員がすすめる子どもの本一赤ちゃんから小学生までの155冊」、「図書館員がすすめる本一中学生・高校生のための55冊」、「本との出会いーぐんまの子どもにすすめたい本200選」で、県立図書館のウェブサイトからダウンロードできます。「群馬県立図書館子ども読書活動推進」で検索してみてください。また、「本との出会いーぐんまの子どもにすすめたい本200選」は、新田図書館では『群馬200選』として、開架図書室、児童図書新受入れ棚の横にご用意しています。



どくしょつうちょうは、いつ、どんな本を読んで、どんな感想を持ったかを記録するノートで、県立図書館ウェブサイトからもダウンロードできます。新田図書館カウンターでも数量限定でご用意させていただきました。子どもさんの読書がたのしくなることを願います。

\* 群馬県立図書館(<http://www.library.pref.gunma.jp>)トップページから「子ども読書活動推進・学校支援」

子ども読書のすすめ



おかあさん人形劇

平成28年3月6日(日)午前11時から、2階講座室で〜おかあさん人形劇、ジャックと豆の木〜を開催しました。たくさんのご来場をありがとうございました!!

毎年、3月には、人形劇を開催しています。次回も楽しみにしてください!